

グローバル産地計画

静岡県 機能性飲料「**GABA玉露**」産地計画
(青羽根製茶生産組合茶工房たくみ：藤枝市)

令和元年に明らかになった課題と 令和二年の取り組み内容

令和元年の 課題

ほ場

- GABAの元になる栄養素（グルタミン酸）を高める栽培方法は？
- JAS有機認証のニーズがあるか不透明

加工

- 有効成分値がロットによってばらつく
- 嫌気状態を完全に作り出せていないことが原因？

販売

- 健康茶として日常的な飲み物にしたいが価格が高い。
- 茶葉専門店以外の新しい市場を開拓できる可能性？

令和二年の 取り組み

ほ場

- グルタミン酸を高めるための遮光期間の長期化
- 品種ごとにデータを取りGABA玉露製造に向けた品種を選定
- JAS有機認証の取得

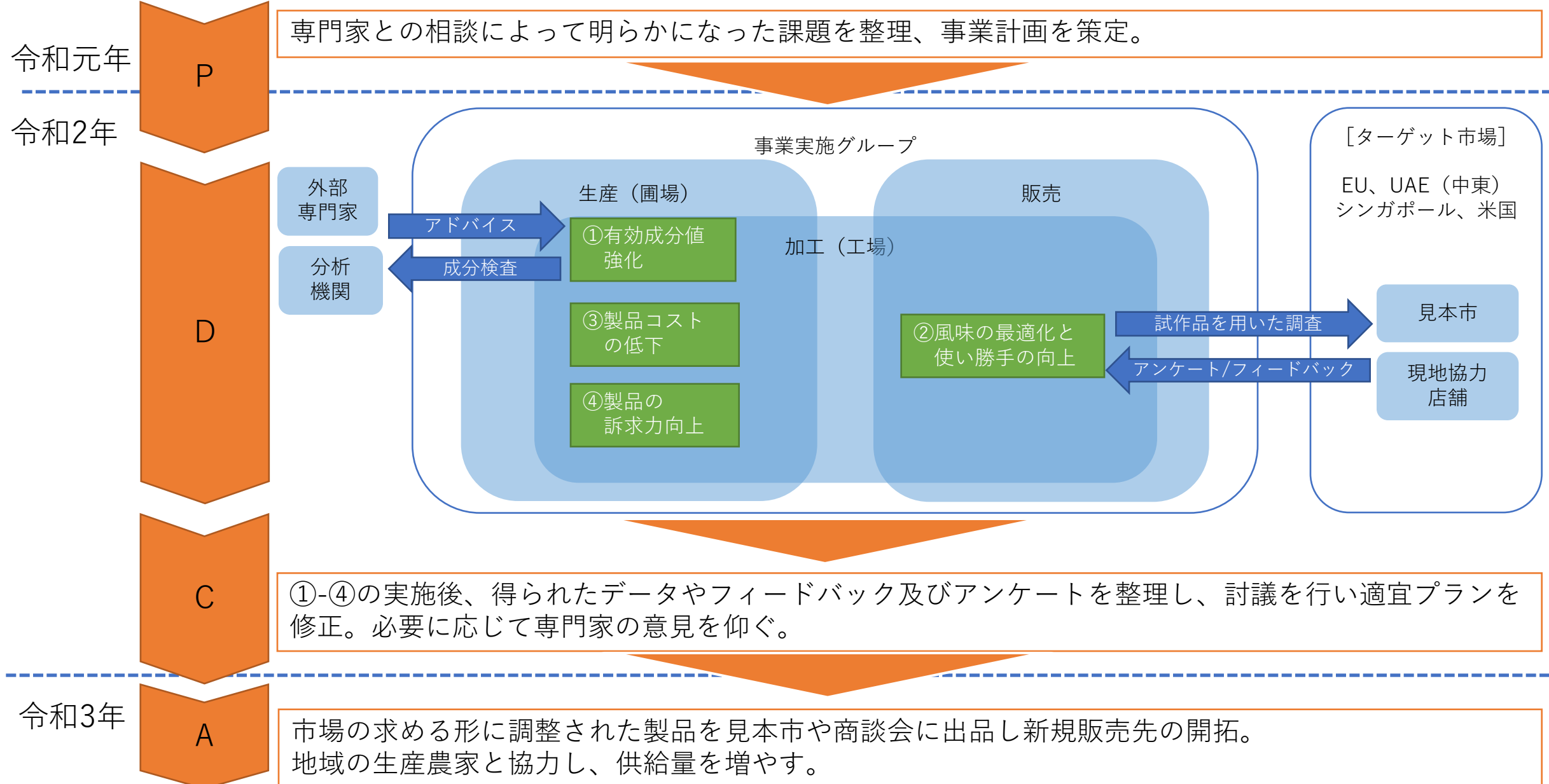
加工

- 完全な嫌気状態を作り出す資材の導入
- 二番茶を用いた低単価品の試験生産

販売

- 日常的に飲用してもらうために、消費者が馴染みやすい風味を試作して調査する。
- 粉末化製品の試作。
- 自然食品・健康食品市場の新規開拓

事業実施イメージ



①有効成分値強化

強力な遮光ができる被覆資材の試験的導入

- 製品の有効成分GABA含有量を増やすには、原料となる生葉内のグルタミン酸の含有量をどれだけ増やせるかがカギとなる。
- グルタミン酸の含有量増加させるには遮光の強度を強くし、期間を長くする。
- 遮光効率の高い資材を導入して有効成分値を高められるか試験的に栽培を行う。

適切な原料となる品種の選定

- 遮光して育てる玉露に向けた品種が育てられてきた岡部にある複数の品種からいくつかを選び出し、同じ条件下で栽培し有効成分を成分分析する。結果を比較し、グルタミン酸を多く蓄えられる性能を持った品種を選び出し、原料として選定する。

嫌気装置の試験的導入

- グルタミン酸をGABAに替えるには完全に酸素を遮断した状態にすることが肝要。この状態を作り出せる器材を導入する。

②風味と使い勝手の向上

バイヤーから直接意見を聞くために見本市への出展

- ユーザーが日常的に飲用できるように好まれる味を作ることが肝要。
- 以下の3種類の技法を組み合わせ商品サンプルを試作する。萎凋（生葉の水分を一定の温度と条件下で減少させて、フルーツやフローラルな香りを発揚させる）、発酵（生葉を酸化させて、花のような風味、酸味やコクを生み出す）、火入れ（高温で加熱し食欲をそそる香ばしさを付与し、好ましく無い香りをマスキングする）
- 見本市に来るバイヤーからの評価や意見を聞き、ユーザーに好まれる味と使い勝手について調査する。
- 急須のない環境でも利用できる形態を目指す。具体的には、粉末化した製品を1回分ずつ包装したものを試験的に作成する。

協力店舗での試飲イベント実施

- 取引のある店舗と協力をして複数のサンプルの味が試せる試飲イベントを開催。アンケートを取り相手先の嗜好性を調査する。

③低コスト製品の製造

二番茶を用いた製品製造

- 一番茶はグルタミン酸の含有量が多いが原材料コストが高い。
- 高い価格は日常的な飲用を妨げる為に、低コスト化が課題。
- グルタミン酸含有量は低いですが、比較的安い価格にて取引される二番茶を用いてGABA生成を行い、廉価な商品の開発を行う。

④製品の訴求力向上

圃場、および製造工場でJAS有機認証の取得を開始

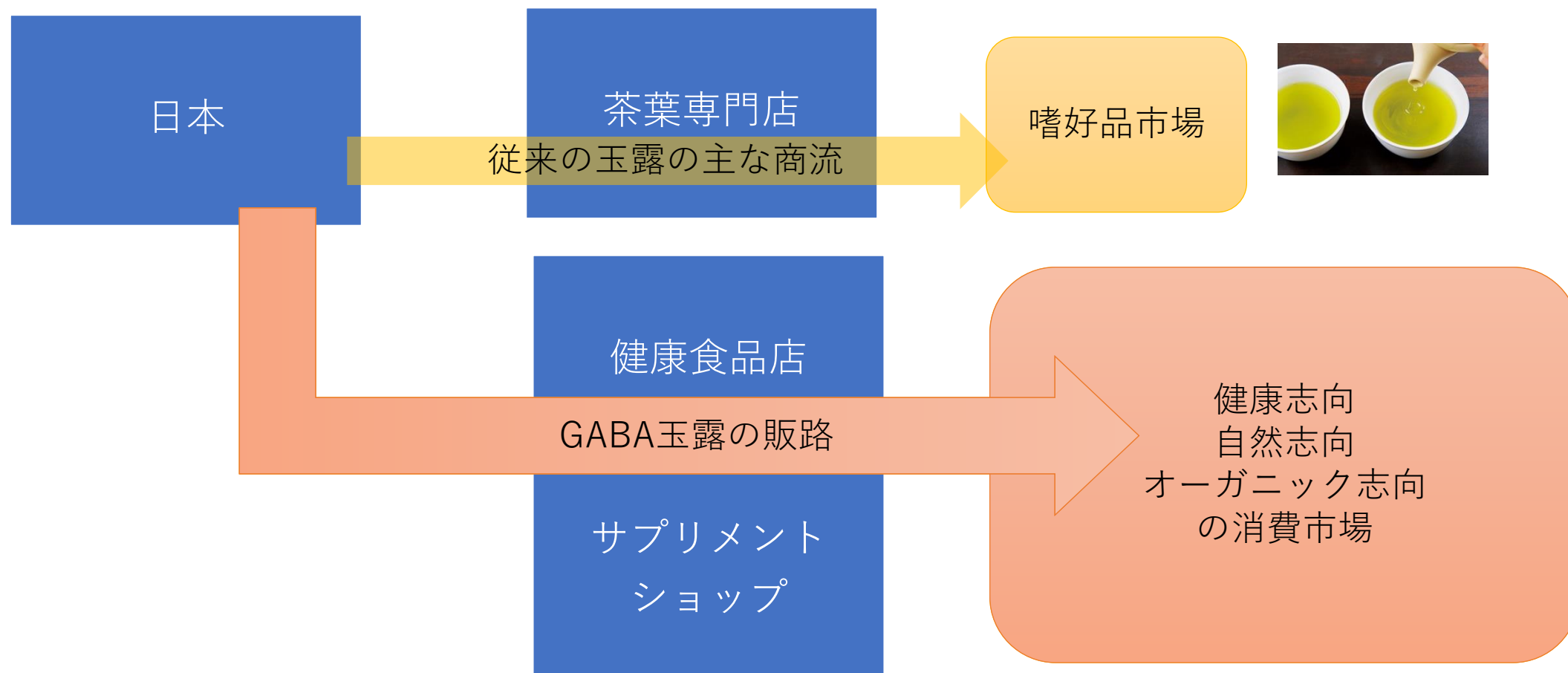
- 狙う外国の市場では、茶＝健康飲料という認識がある。
- 身体機能性や精神に対しての作用などを求めており、血圧低下、ストレス軽減効果のあるGABA玉露はこの要件を十二分に満たす。
- 健康志向が高いこれらのユーザー層は、環境にも配慮している商品であることを重視する。有機認証取得は一定の効果が期待できる。

残留農薬、放射能検査を実施する。

- バイヤーから求められることが多い安全性に関する検査（残留農薬、放射能）を行う。

新規の商流開拓

従来の嗜好品としての販路だけでなく、健康的な生活を求める消費者にアクセスできるより大きな販路を開拓する。

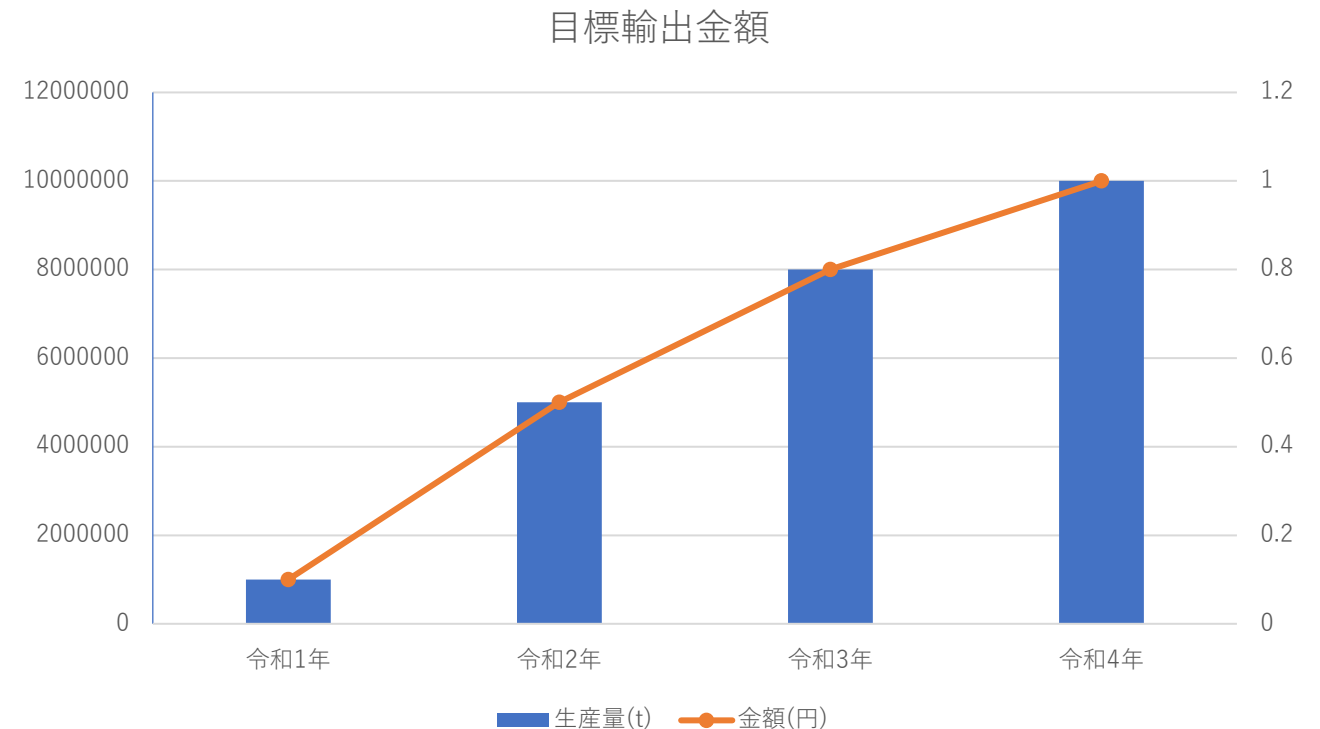


実施スケジュール

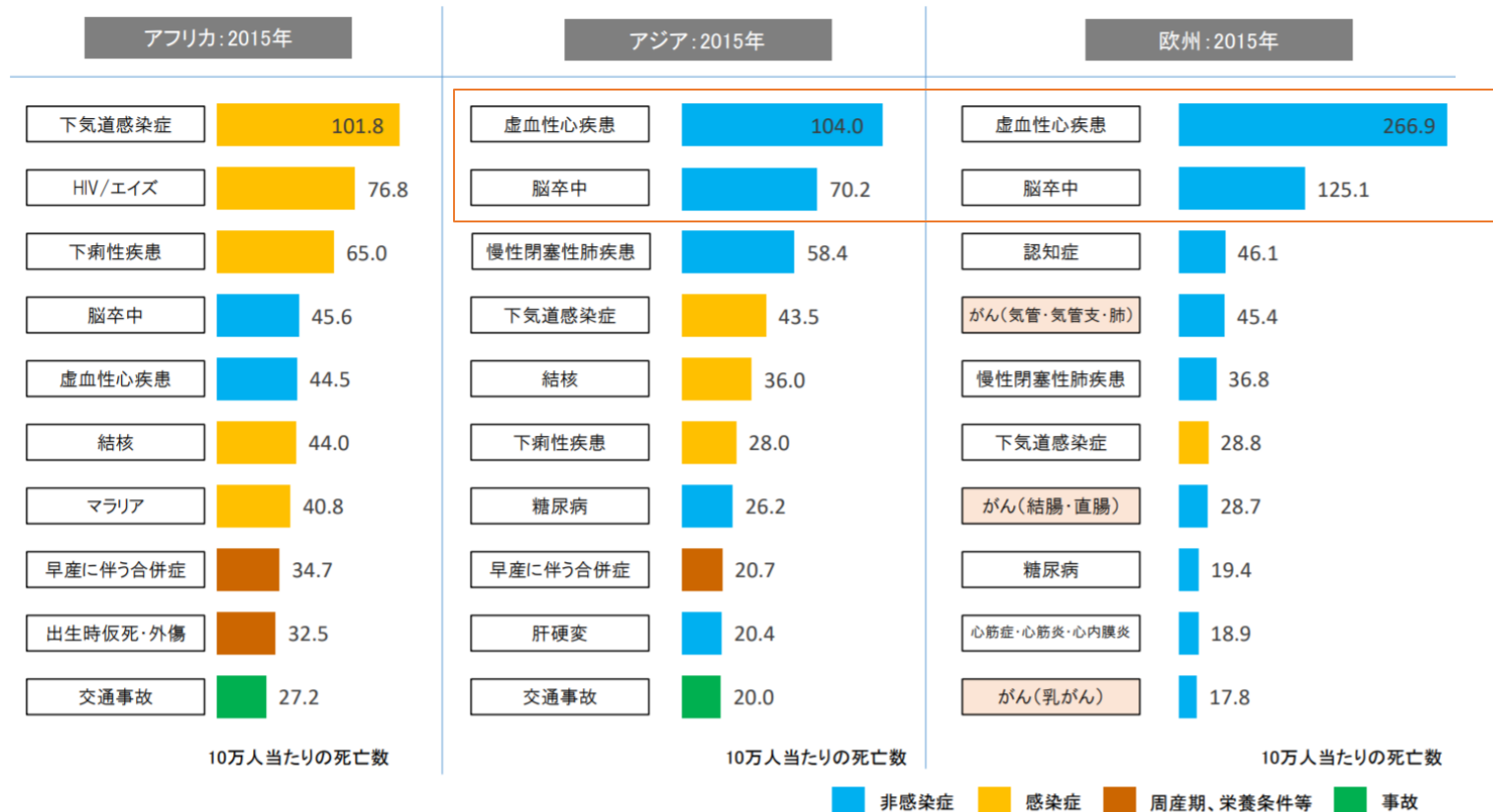
[illegible]

3か年の計画および目標輸出金額

内容	令和元年	令和2年	令和3年
生産・加工等の体制構築支援			
①有効成分値強化			
品種の栄養成分分析	○	○	○
外部研究機関との協力	○	○	○
栽培技術の改善		○	○
加工技術の改善		○	○
②風味と使い勝手の向上		○	
風味		○	
使い勝手（形状と包装）		○	
③製品コストの低下		○	
二番茶を用いた製造		○	○
④製品訴求力の向上		○	
JAS有機の申請		○	
JAS有機の更新			○
残留農薬・放射能検査		○	○
⑤生産体制拡大			
地域との連携			○
事業効果の検証・改善			
食品見本市への出展		○	○
現地店舗での市場調査		○	○



付属資料：市場のニーズ調査



疾病の構造は経済成長と人口の高齢化によって変化する。

平均年齢の高い欧州、米国は、生活習慣病に起因する割合が高い。

出所: WHO Global Health Observatory (GHO) data をもとに 内閣官房健康・医療戦略室作成
 ※「アフリカ」「アジア」「欧州」は、それぞれ出所における"African Region"(47カ国)、
 "South-East Asia Region"(11カ国)、"European Region"(50カ国)より記載

付属資料：市場のニーズ調査

順位	都市	費用	入院日数
1	ニューヨーク（アメリカ合衆国）	152.2～440.9万円	1～3日
2	パリ（フランス）	22.1～97.3万円	3日
3	マドリッド（スペイン）	48.6～91.8万円	4日
4	ロンドン（イギリス）	74.1万円	2日
5	ローマ（イタリア）	69.2～73.1万円	3日
6	ジュネーブ（スイス）	27.8～70.5万円	3日
7	バンクーバー（カナダ）	66.7万円	3日
8	シンガポール（シンガポール）	34.9～43.6万円	3日
9	デュッセルドルフ（ドイツ）	35.7万円	3日
10	（日本）	30.0万円	6～7日

・虫垂炎で入院した場合の医療コストを左の図に示した。

・米国、欧州で特に医療負担が高い。

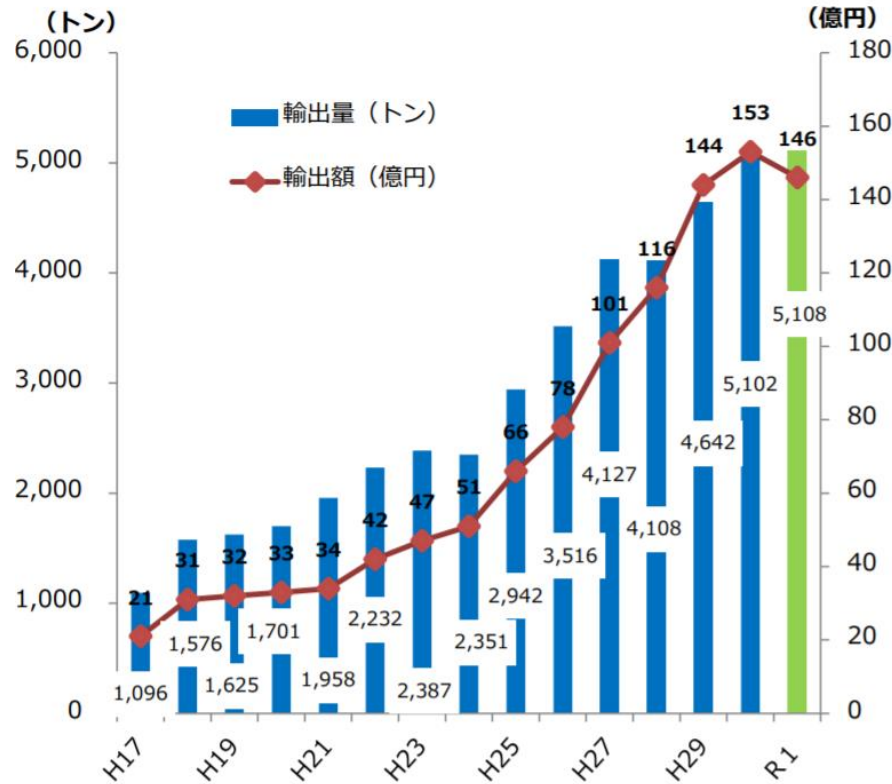
・入院すると高額な医療費を負担しなければならない国では、自身の健康な生活に対して関心が高くなると考えられる。



中東の特徴としては肥満や糖尿病に派生する医療需要が大きいことが挙げられる。肥満とされる体格指数（BMI）30以上の割合をみると、サウジアラビア35.6%、UAE33.7%、エジプト30.3%（WHO「Global Database on Body Mass Index」）と、世界の最上位を中東諸国が占める（先進国はドイツ12.9%、日本3.1%など）。

付属資料：世界における緑茶の需要

【緑茶の輸出実績（世界）】

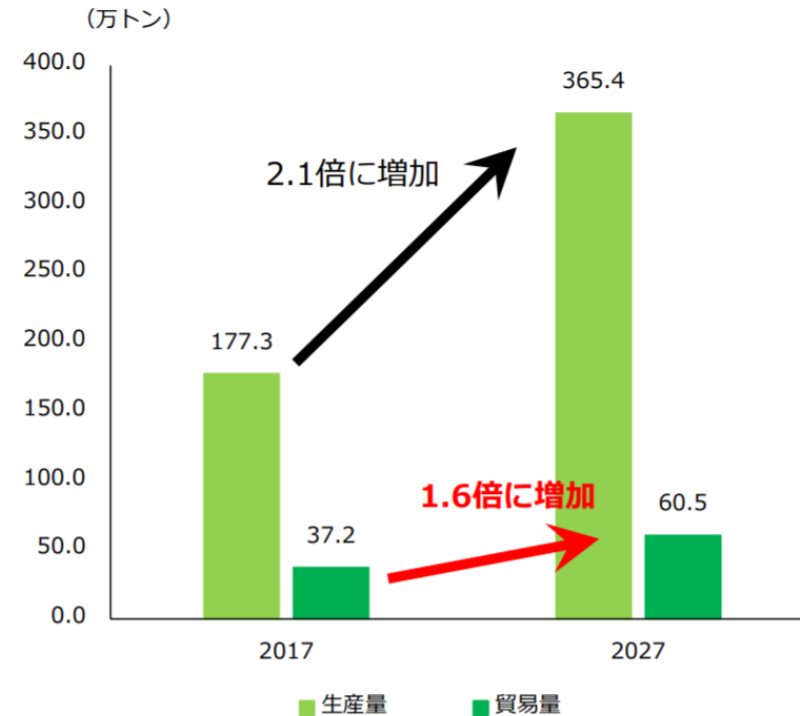


【緑茶の輸出価格の推移】

単位：円/kg

H27	H28	H29	H30	R1
2,449	2,812	3,093	3,005	2,867

【世界における緑茶の貿易量の見通し(FAO予測)】



出典：FAO茶に関する政府間協議資料

今後も世界的な需要は高まる見通し